

きょうつうてん そういてん せいり  
共通点や相違点を整理して、

グループの名前をつけるために話し合おう

中心学習材「名前をつけよう」（光村図書3年下）

<p>&lt;育てたい主となる能力&gt;</p> <p>◎互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。（話・聞オ）</p>	<p>&lt;主となる言語活動&gt;</p> <p>◎名前を付けるために、グループ内の共通点や相違点を整理しながら話し合う。</p>
--	---

1 子どもと単元について

(1) 学習者観

子どもたちは、「どちらがすき」（東京書籍3年上）では理由を挙げながら筋道を立てて自分の考えを話す言語活動を行い、話す内容を構成することを学習している。「道あんないをしよう」では、大事なことを行動の順序で話したり、聞いた事柄で確かめたい点を質問したりする言語活動を行った。このことにより、相手の反応を見ながら話したり、話の内容を確かめたりすることの大切さを理解している。『『分類』ということ』では、注目した特徴に基づいて任意の集合体を分類し意見を交流することから、自分の考えと友達の考えとの共通点や相違点を見付ける学習をしている。この学習で、「なぜ、他人はそのような分類をしたのか」と、相手の思考の過程に目を向けることができるようになってきた。

また、国語科以外の学習や日常生活における話合いでも、自分が体験したり考えたりしていることについて話したり、それについて質問や感想を話したりする機会を設けている。

これらの学習を通して、子どもたちは、自分の考えを自分の言葉で話したり、友達の話に興味をもって、知りたいことを考えながら聞いたりすることができるようになってきている。また、自分とは違う考えに気付いて、ペアでの話合いにおいて友達の考えをさらに詳しく知ろうと質問したり、自分の考えを深めたりする子どもも増えてきている。

今後は、3人以上の小グループにおいて、自分の考えを主張すると同時に相手の考えのよさも受け入れながら、一つの考えにまとめるために話し合う力を身に付ける必要がある。

(2) 学習材観

本単元「考えの共通点や相違点を整理して、グループの名前を付けるために話し合おう」は、自分たちが編成しているグループの名前を付けるという身近な話題について、互いの考えの共通点や相違点を考え、話合いにおける役割を果たしながら、進行に沿って進んで話し合うことをねらいとしている。

本学習材「名前をつけよう」では、子どもたちが属する係や学級スポーツ大会のチームに名前を付けるために話し合う中で、自分の考えを話し、友達の考えと比べながら聞き、さらには合意形成に至るといふ話合いの基本的な方法の一つを学習する。子どもたち一人一人が考えた名前には、思いが込められている。それぞれの考えがどのようなことに基づいているのかといったことにも目を向け、互いの意見を尊重しながら話し合うという学習活動を行うことから、本単元のねらいにせまるために本学習材は適材であると考えられる。

### (3) 学習指導観

#### 【基礎・基本的な知識・技能を活用する言語活動】

話し合いの前に自分の意見や考えを確立させるために、話し合いの前や話し合いの途中に書く活動を取り入れる。この活動は、1・2学年で学習した「話すために必要な事柄を思い出してノートやカードに書き出す」知識・技能を生かすことができる。

根拠や事例を挙げながら伝えたいことを話す場、自分の考えと比較して聞き、分からない点や確かめたい点を質問する場を意図的に取り入れて話し合う活動は、話題を変えて繰り返していく。繰り返し言語活動を行うことで、合意形成に至る話し合いに必要な知識・技能をより確かに習得させていく。

これらの活動を行う際、話し合いのモデルやシートの使用法のモデルを提示し、指導を効果的にできるように図っていく。

#### 【言語活動を通して考えたり表現したりしたことを交流する活動】

互いの意見の共通点、相違点を整理していく思考の過程を児童が視覚的に理解できるようにするために、意見や考えを書き出したカードを使って、自分の考えを説明したり、出された意見を整理したりして話し合う。出された意見を分類・整理していくとき、シートを利用して話し合っていく。

どの子どもにも話し合いにおける様々な役割を経験させるために、本単元では4回の話し合いを計画している。

#### 【身に付けた言葉の力についてまとめ確かめる振り返りの活動】

児童の語彙や表現を増やしていくために、相手を見る視線、間の取り方などの音声に関すること、話し合いに役立つ言葉や言い回しを、音声記録や映像記録を基に振り返る活動を設定する。

これらの活動を行う際、ロールプレイなど実際に活動を取り入れ、新しく得た語彙や表現を実際に使い、言葉の力を実感できるようにする。

### (4) 教科等の学習や日常生活への活用例

- ・学級行事の内容や学級の問題の解決方法などを話し合う。(学級活動)
- ・実験・観察・見学などの活動の結果・記録から、きまりを見付けるために話し合う。  
(理科・社会・総合的な学習における話し合い活動)

## 2 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	◎名前の付け方について、進行に沿って話し合おうとする。	・クラスの係、チームなどに名前を付ける活動において、それぞれの役割を果たしながら話し合いに参加しようとしている。
話す・聞く能力	◎互いの考えの共通点や相違点を考え、名前の付け方について、話し合いにおける役割を果たしながら、進行に沿って話し合うことができる。 (話・聞オ)	・友達の考えと自分の考えの共通点や相違点を整理し、自分の役割を果たしながら進行に沿って話し合っている。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。(イ(ア)) ○表現したり理解したりするために必要な語句を増やすことができる。(イ(ア))	・適切な言葉を用い、意見を伝えたり共有したりしながら話し合っている。 ・意図がより伝わる言い方に直したり、新しく知った言葉や言い方を使ったりして話し合っている。

3 学習指導計画（全6時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

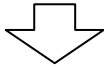
【主な活用】

第1時  
単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。（2/3時間）

①本単元のねらいは考えを一つにまとめるための話し合いを学習することを理解し、学習のみとおしをもつ。（30分）

<評価>

①話し合いの2つの例（映像）を見比べ、何について話し合いがなされ、どのように決まったかを理解している。《発言・ノート》



第2次  
新しい係に名前を付けるために話し合いをする。（1と2/3時間）

②友達の考えとの共通点や相違点を整理しながら、新しい係の名前について話し合う。（45分）

③記録された文章や映像を見て、前時の自己評価を基に、よい話し合いの仕方について交流する。（30分）

<評価>

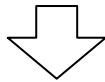
②話し合いの役割を理解し、友達の考えとの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合っている。

《活動の様子・話し合いの記録・ワークシート》

③記録された話し合いを見て、話し合い（役割）の進め方や話し合いで大切なことについて理解を深めている。

《活動の様子・話し合いの記録・ワークシート》

「『分類』ということ」で学んだ考えの共通点や相違点に気を付けながら意見を交流する知識・技能を活用し、話題について話し合う。



第3次  
チームに名前を付けるために話し合いをする。（1と2/3時間）

④友達の考えとの共通点や相違点を整理しながら、チームの名前について話し合う。（45分）（本時）

⑤記録された文章や映像を見て、前時の自己評価を基に、よい話し合いの仕方について交流する。（30分）

<評価>

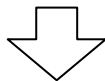
④司会などの役割を理解し、友達の考えとの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合っている。

《活動の様子・話し合いの記録・ワークシート》

⑤記録された話し合いを見て、話し合い（役割）の進め方や話し合いで大切なことについて理解を深めている。

《活動の様子・話し合いの記録・ワークシート》

第2次までに学習した話し合いの役割についての知識・技能や考えを整理するための知識・技能を活用して、グループで話題について話し合う。



第4次  
グループ新聞に名前を付けるために話し合う。（1時間）

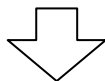
⑥活動の内容や新聞づくりへの思いが表れる新聞名を付けるために話し合う。（30分）

⑦話し合い方について自己評価・相互評価する。（15分）

<評価>

⑥第3次までに学んだことを生かして話し合っている。《活動の様子・話し合いの記録・ワークシート》

⑦学んだ話し合いに大切なことを観点に評価している。《発言・ワークシート》



第5次  
学級お楽しみ会の班の発表内容と役割を決めるために話し合う。（1時間）

⑧班の発表内容とその時の役割について話し合う。（30分）

⑨話し合い方について自己評価・相互評価する。（15分）

<評価>

⑧第4次までに学んだことを生かして話し合っている。《活動の様子・話し合いの記録・ワークシート》

⑨学んだ話し合いに大切なことを観点に評価している。《発言・ワークシート》

#### 4 本時の指導

##### (1) ねらい

学級スポーツ大会のチーム名について、友達の考えとの共通点や相違点を整理し、話し合いにおける役割を果たしながら進行に沿って話し合うことができる。

##### (2) 既習の知識・技能を活用する言語活動

第2次の学習では、グループで考えを一つにまとめるために話し合うときの進め方や留意点、話し合いにおける役割を学習し、新しい係の名前について話し合った。そこで学んだ互いの意見の共通点や相違点を整理して考えを一つに集約する話し合いの知識・技能を生かし、学級スポーツ大会のチーム名について話し合う。その際、話し合いにおける役割を第2次とは異なるものとし、どの子どもも様々な役割を経験し、話し合いの知識・技能を身に付けていく。

##### (3) 展開

階	学習活動・学習内容	機	指導上の留意点
つかむ	1 本時の学習課題を確認する。(1分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">互いの意見の共通点や相違点を整理しながら、学級スポーツ大会のチーム名を決めよう。</div>	全	○確認するときや活動中の支援になるように、学習計画表、話し合いの流れをまとめたものを掲示する。
名前をつける話し合いをする	2 学習の見通しをもつ。(5分) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;">             &lt;学習の進め方&gt;              (1)意見と理由を一人一人言う。              (2)分からないこと、もっと知りたいことなどを聞く。              (3)話し合いのポイントをもとに意見を一つにまとめる。              (4)自分たちの話し合いについて振り返る。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">             &lt;話し合いのポイント&gt;              ・考えた名前だけでなく理由も話す。              ・友達の意見と自分の意見を比べながら聞く。              ・考えの共通点、相違点をはっきりさせて話す。           </div> 3 チームの名前を付けるために話し合う。(23分) (1)自分の考えを書き出し、付箋にまとめる。 <b>【考えられる名前の特徴】</b> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;">             ・ドラゴンファイターズ(強さを強調)              ・みんなでシュートチーム(協力と勝利の組み合わせ)              ・いつもにこにこチーム(協力を強調)              ・ぜったいかつぞ!チーム(勝利を強調)              ・ウルトラドリームファイブ(言葉のリズム)           </div>	個	○「学習の進め方」を掲示し、いつでも話し合いに役立てることができるようにする。 ○前時まで学んだ話し合いのポイントについても確認する。 ○話し合いのルールを確認する。一人で勝手に決める、「この次は〇〇さんの意見をきくから、今日は自分の意見を採用してほしい」という交換条件など間違った活動の例を出し、合意を得ながらの話し合いを理解させる。 ○話し合いの役割には、進行役、計時役、記録役を設定する。  ○考えを書き出した付箋を操作し、考えの整理が視覚的に分かるようにする。 ○意見とその理由を話しているかを見取っていくと同時に、グループ内の話し合いで質問や意見が出にくかったり、考えがまとまらなかったりする要因を見取り、以下のような助言をしていく。 ・考えの同じ点に気を付けて意見をもう一度聞き合う。 ・質問がない場合は、「〇〇さんと△△の考えが同じです。」と発表し、付箋を移動する。 ・考えられる名前は「勝利や強さに関する名前」「チームワークや態度に関する名前」の二つに大きく分類されることを理解させ、考えを書き出した付箋を整理させる。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">名前をつける話し合いをする</p>	<p>(2)意見を発表する。</p> <p>(3)進行に沿って、確かめたいことやもっと知りたいことを聞く。</p> <p>(4)共通点や相違点を整理しながら話し合い、意見を一つにまとめる。</p> <p>【予想される発言例】</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>B評価になる子どもの発言例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすく言うと</li> <li>・それはこういうことですか。</li> <li>・〇〇さんの意見を聞いてこんなことを考えたのですが・・・。</li> <li>・二人の意見はこういう点で似ているね。(違っているね)</li> </ul> <p>A評価となる子どもの発言例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それは、例えばこういうことでしょう。</li> <li>・〇〇さんの意見に大体賛成なのですが、この点については意見があります。</li> <li>・みんなの意見をまとめると、このようなことが共通点ですね。</li> </ul> <p>[進行に関して]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話の切り出し・段取り・逸脱の修正をする発言・話し合いのまとめ</li> </ul> </div>	<p>グ</p> <p>○進行表を作成するとともに、語彙表を用意し、話し合いのときに生かすことができるようにする。</p> <p>○話し合いが進まないグループが三つ以上見られる場合、意見をまとめているグループの活動を紹介するなど、話し合いの方法を学び合う場を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;評価&gt;</p> <p>A 役割を理解し、話し合いを深めたりまとめたりする発言をしながら出された意見を整理し、進行に沿って話し合っている。</p> <p>B 司会などの役割を理解し、友達の意見との共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合っている。</p> <p>Cへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモを基に自分の考えに理由を加えながら話すように助言する。</li> <li>・友達の考えについて、自分との違いや共通点を直接示し、それについて意見を導き出すように個人指導する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">&lt;活動の様子・話し合いの記録・ワークシート&gt;</p> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめる</p>	<p>5 学習を振り返る。(15分)</p> <p>(1)話し合いを振り返り、自己評価する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を言う、質問をするなど話し合う知識・技能について</li> <li>・話し合いにおける自分の役割について</li> <li>・話し合う時に気を付けることについて</li> </ul> </div> <p>(2)学習の振り返りをグループで交流する。</p> <p>(3)グループでの話し合いの内容を学級全体の場で発表する。</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。(1分)</p>	<p>全</p> <p>「話し合いをうまく進めたり、全員が話し合いに参加したりするためには、一人一人がどんなことに気を付ければよいでしょうか。また、みんなが納得する考えにまとめるときに、どんなことに気を付けますか。」</p> <p>○今日の学習で「できるようになったこと」「話し合うとき気を付けること」を視点に自己評価させる。このことにより、言葉の力を実感させ、次の話し合いの意欲につなげる。</p> <p>○話し合うときの留意点について考え、紹介し合う場を作ることによって、よりよい話し合いの仕方について理解を深めることができるようにする。</p> <p>グ</p> <p>○各グループで付けた名前と話し合いの様子を紹介し合う場を設け、考えの整理の仕方を学び合うことができるようにする。</p> <p>全</p> <p>○次時の学習について、学習計画を示しながら伝え、意欲付けをする。</p>